

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第一中学校 会長名 鈴木 晃代

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ 会合の回数や組織の改定等の見直し
- ・ 地域の祭り等の巡視活動
- ・ 運動会や合唱コンクール等の学校行事への協力
- ・ 環境整備の向上（年間2回の奉仕作業、古紙回収方法の見直し等）
- ・ 一中校区三校の連携による合同役員会の実施
- ・ 三校親睦リクリエーション大会の計画（雨天中止）
- ・ 単P親睦リクリエーションの実施
- ・ 学年行事（講話）や学校行事を兼ねたPTA学習会の企画
- ・ 制服、ジャージのリサイクル
- ・ PTAだよりの発行（年2回）

等

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ 会合の回数や組織の見直しを行うことによって、委員の負担感が軽減された。
- ・ 各種学年行事（思春期講座・薬学講座等学校行事に協力し、参画することで、教員や生徒の活動の様子が分かり、学校教育への理解が深まった。
- ・ 校区内の二つの小学校と会合や行事を連携して行うことで、情報共有や情報交換がより活発に行われるようになり、地域ぐるみでの教育活動の推進につながった。

－改善案－

- ・ 地区役員の在り方や選出方法について、本年度に引き続き次年度の課題としてさらに検討し、改善していく。
- ・ 各専門部の活動を再度見直し、学校や保護者、地域の実態に即した内容に改善していく。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原第二中学校 会長氏名 佐野 剛敏

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・登校時、正門であいさつ運動を実施（毎週火曜）
- ・PTA 新聞の発行（年1回）
- ・奉仕作業
- ・第1回 SDG s マーケット（バザー）
- ・吉原二中 PTA の組織改編

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
—具体的な効果—

- ・今年度のあいさつ運動は、親だけでなく、子どもと一緒に参加するかたちに変更したことで、活動に活気が出た。
- ・SDG s マーケットは2度目となり、昨年度培ったノウハウを生かして、比較的スムーズに運営できた。
- ・執行部会等の開催回数を必要最低限にしたことで、役員の負担が軽くなった。

—反省点—

—改善点—

- ・奉仕作業は、雨で急遽日程変更になったが、想定していた以上にたくさんの方が参加してくれた。しかし、急な変更で肝心の役員の中でも参加できない人が多く、不便な面もあった。予備日の設定は必要だと感じた。
- ・奉仕作業が10月になったことで、暑さも緩和され作業がしやすくなった。作業の時間をもう少し（30分程度）長くしてもいいのでは、と思った。
- ・SDG s マーケットは、2年目だが、まだ知らない人も多い。事前のアナウンス等が必要である。
- ・既存の組織を維持運営していく難しさが出てきているが基本的な理念に立ち返ることが必要である。形は変えても理念や大切なことを見失わずに保護者、教員、地域が一体となれるような組織になればと思う。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第三中学校 会長氏名 望月 拓人

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

P T A本部事業：P T A総会（書面決議）

第1回～第4回本部役員・常任委員会の運営

現新合同役員会・専門部会の運営

生活指導部：「かけこみ110番の家」の依頼

県下一斉街頭補導（7月、12月）

成人教育部：P T A新聞「季みどり」22号の原稿依頼・編集・発行

学校HPでのP T A活動の広報

環境整備部：P T A奉仕作業（樹木の剪定・草取り）

家庭教育委員会：卒業生へのコサージュ選定と贈呈

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・編入統合に伴い、専門部を再編成したが、計画していた事業は滞りなく行うことができた。
- ・各専門部で一般の部員を廃止し（各部専門部長、副部長のみ）、活動の際にはボランティアを募ることにした。
 - ・奉仕作業の際には多くの保護者、生徒がボランティア参加した。
 - ・成人教育部の広報活動は学校HPとしたので、部員なしでも行うことができた。
 - ・家庭教育委員会のコサージュは、前年度までの作成でなく、選定、購入としたことで、部員なしで行うことができた。

－反省点－

- ・家庭数の減少により、一般部員を廃止しても、地区によっては役員の選出が難しいところがあると意見があった。

－改善案－

- ・各地区からの役員選出方法の検討。
- ・令和7年度は市の合同研修会会場となる。一般部員を廃止しているので、会場運営のためのボランティア募集方法の検討。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原中学校

会長名 飛奈 慎也

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・支部長や各専門部の廃止など、P T A役員・事業の精選を行った。
- ・役員の精選に伴う、P T A規約の改定を、オンラインで行った。
- ・P T A総会を参集型から紙面決議に変更し行った。
- ・昨年度、常置設置の回収 BOX の撤廃により、古紙回収を1回につき1週間で年に2回実施した。
- ・奉仕作業は9月にP T A、教職員、一部の生徒により行った。
- ・あいさつ運動を年3回、長期休業明けに実施。
- ・本部役員会にて、P T A活動の課題を検討し、今後の活動方針の参考とした。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・古紙回収を2回実施する時に、地域にも呼び掛けを行ったため、多くの古紙を集めることが出来た。
- ・組織のスリム化を図ったことから来年度役員は全員立候補でスムーズに決まった。

—反省点—

- ・組織改革をオンラインで進めたため、一部説明不足となった面もある。

—改善案—

- ・来年度は支部を廃して実行委員会を設立し、活動等の情報発信を一元化、会員の理解を得ながら活動する。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 須津中学校 会長氏名 栗田美穂

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

環境整備活動（グラウンド及び周辺）と資金獲得活動（古紙回収・アルミ缶回収）

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・環境整備活動→会員だけでなく、保護者全員並びに生徒たちにも参加を呼びかけた。
（指定日への参加者はまずまずの人数であったが、過去の参加者に比べると少ない）
- ・古紙回収・アルミ缶回収→会員だけでなく、保護者及び学区内世帯への周知

－反省点－

- ・環境整備活動

学校で決めた作業日は熱中症対策を考慮し、6月であったが、近年草の生え方が尋常ではなく、12月、1月くらいまで伸びるので年に1度だけでは環境整備作業は不十分。

「ふれあい協力員」を募集し、少しでも環境整備に協力してくれる方がいればよいと思ったが申し出がなかった。呼びかけが不十分であったのか。

- ・古紙回収・アルミ缶回収

アルミ缶回収はまだ開始したばかりなので今後定着を図りたい。

古紙回収は当初企画していたもの（通年常設）が諸事情により、回収方法が変わり、学区外の業者に各自搬入する方法は協力が得られにくかった。

－改善案－

- ・環境整備活動：年1回から2回（6月と秋、体育祭前）に回数を増やす。
参加者を増やすために何らかのメリットが欲しい。
- ・資金獲得活動：効果的な回収方法がないか、市内小中学校で情報共有をお願いしたい。

令和6年度 須津中学校PTA 活動報告

須津中学校PTAは生徒たちの学校生活を支援するために活動をしています

生活指導部

交通安全週間・朝の見守り運動(年3回)

環境整備部

- ・環境整備作業(6月)
- ・古紙回収(10月・12月)
- ・アルミ缶回収(9月・1月)

家庭教育委員

- ・市P連事業
- ・卒業式のコサージュ準備
- ・ジャージリユース

体育保健部

- ・的場祭体育の部 見回り

成人教育部

- ・PTA新聞の発行

事業で得た収益は、部活動の支援金に充てさせていただきました。

古紙回収収益

10月…2,970円/12月…5,544円

アルミ缶回収収益

9月…17,270円/1月…8,600円

コサージュ準備は今年度までとなります。
また、新たにジャージの回収をはじめます。

活動を見直し、令和7年度は生活指導部に統合し、
名称を「総務部」に改めます。
また、今年度でPTA新聞の発行を休止します。
今後は学校便りに活動を掲載させていただきます。

以前は生徒数(会員数)も多く、資金や動員に困窮することはなかったのですが一人年間1,200円の会費を負担していただき、これまでのように運営していくことが難しくなりました。
須津中PTAは上記のように生徒たちの学習環境の整備、並びに部活動への支援を行っています。
また、地域(須津/浮島まちづくり協議会・地区防災)や学校運営協議会への参加など、地域と学校・学校と保護者をつなぐ窓口となっております。
今年度、「親子料理教室」を開催し、学校給食メニューを作り、試食をし、会員の皆様に楽しんでいただきました。今後もこのような活動ができればいいと思います。
令和6年度、紆余曲折ありましたが、皆様のご理解とご協力の下、終わることができました。
ありがとうございました。

令和6年度PTA会長 栗田美穂

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵中学校 会長氏名 堺 なおみ

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 P T A新聞発行
- ・生活指導部 体育の部の校内巡視および地区巡視、夜間の巡回パトロール
- ・環境整備部 古紙回収（3回）とアルミ缶の回収事業（常時設置）
奉仕作業活動（校内の雑草除去や剪定）
- ・体育保健部 ギター教室のサポート
- ・家庭教育委員会 制服等古着販売
卒業生へのコサージュの準備、プレゼント
- ・P T A四役 3年生の合格祈願に併せて、合格消しゴムを3年生に贈呈
卒業記念品の贈呈
大淵ふれあいまつりの模擬店出店

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・今年度は、昨年度以上に、古紙回収や奉仕作業に参加した生徒、保護者、教員が多かった。特に奉仕作業では、校内の草取りやグラウンド整備、木の剪定することができた。また、古紙回収やアルミ缶回収は昨年度同様の資源回収費が得られた。この活動を通して、生徒と保護者、教員の交流ができた。
- ・12月に発行したP T A新聞は、各学年の学校行事やクラスの様子を掲載したため、生徒の学校生活の様子を伝える役割を果たした。

—反省点—

- ・奉仕作業に参加した生徒、保護者の参加人数は昨年度と比較し増加傾向にあるが、まだ不足している。
- ・P T Aの任意加入により、役員の数不足しているため、P T A活動にも支障が生じている。

—改善案—

- ・P T Aの必要性を様々な場面で保護者に伝えていくことで、一人でも多くの保護者がP T Aに加入し、より円滑な学校運営をする。
- ・広報活動の充実を図り、多くの会員が参加したくなるような魅力あるP T A行事を企画・運営していく。
- ・活動内容を精選し、どんな家庭でも無理なく参加できるP T A活動にしていく。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士中学校 会長氏名 服部英之

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・運動会前のグラウンド奉仕作業（参加可能な生徒と保護者を対象）と卒業式前の正門付近の奉仕作業（参加可能な PTA 本部役員を対象）
- ・PTA 朝のあいさつ運動（10月より第2火曜日に参加可能な PTA 本部役員を対象）

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・今年度、運動会前のグラウンド奉仕作業を PTA 本部役員のみ参加から参加可能な生徒と保護者を対象としたため、200名程度の参加があり、短時間で環境を整備することができた。
- ・PTA の朝のあいさつ運動（第2火曜日の 7:50~8:10）については、回数を重ねるごとに生徒の前向きな反応が増えていることを、参加している PTA 本部役員も感じることができた。

－反省点－

- ・朝のあいさつ運動に関しては、PTA 本部役員のみ参加可能な人としているため、人数的には少ないことが多い。

－改善案－

- ・朝のあいさつ運動に参加可能な人を、PTA 本部役員と PTA 地区理事役員の方に範囲を広げて声を掛けるようにする。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松中学校 会長氏名 佐藤 寛之

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・奉仕作業の準備・運営
- ・制服バザーの準備・運営
- ・P T A総務会

取組の効果

- ① 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
ー具体的な効果ー

奉仕作業は、保護者と生徒と先生方が一緒になって作業をし、校内や学校周辺がきれいになった。制服バザーは、ジャージの扱いが多く、リサイクルができてよかった。本年度新1年生より、ブレザーの制服に変わったため、3年後に期待したい。P T A総務会は、学校行事などを話し合うことでスムーズな運営につながった。

ー反省点ー

特になし

ー改善案ー

特になし

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二中学校 会長氏名 高木 賢一

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

施設一体型 小中一貫校として小・中の P T A を統合し、活動をした。
令和5年度より、統合の意義を議論し、準備を進めたのが良かった。
令和6年度の役員募集から立候補制に切り替え、P T A 役員数は15名で活動。
少数で活動する事で、役員通しが連携し、様々な活動を楽しくこなせた。
今後も、主体となる P T A 役員とボランティアの P T A 会員とが協力し、地域の協力を得ながら活動を進めて行くのが好ましいと感じた。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
—具体的な効果—

1. ボランティアを P T A 会員に依頼した際の反響の良さと地域との連携を感じられた。
声掛けを丁寧に行い、段取りよく計画、開催する事が大切だと感じた。

—反省点—

まだまだ P T A 活動の意義、楽しさを広めきれなかった。
P T A 役員ばかりが楽しく活動するのではなく、役員ではない人も巻き込んで楽しいイベント作りを計画するべきだと感じた。

—改善案—

マチコミ等のツールのみならず、役員からの声掛けが重要。
役員が本気で楽しんで貰える仕組み作りで、役員未経験者が参加したくなる様に伝心させる働きかけをする。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士南中学校

会長名 山本 幸洋

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ PTA 本部役員会 4・7・10・1・3月本部役員会
- ・ PTA 新聞「ふれあい」12・3月発行
- ・ PTA 企画委員会 9・12月開催
- ・ 第1回古紙回収 7/11(木)~7/26(金)敷地内にコンテナ設置
- ・ 第2回古紙回収 12/9(月)~12/19(木)
※ボランティアを募集し、コンテナのシートの開け閉めなどの管理を依頼
- ・ 奉仕作業※ボランティアを募り、部活動の生徒と運動場の草取りを実施
- ・ 生活指導部、体育保健部による県下一斉パトロール 7・12月
 - ・ PTA 会員限定学校見学会(1・2年生のみ) ※2月の授業参観時に実施
- ・ PTA 会員限定学年行事見学会(3年生のみ)
※3月公立入試後、学年行事時に実施

取り組みの効果

1. ④ 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

本校は PTA 会員が 421 名と学校の規模に対し加入者が少ない。今年度は、地区役員制度廃止し、専門部の部員を副会長・部長の方に絞ったり、行事ごとボランティアを募ったりしながら、「できる人が・できる時に・できることを」をスローガンに掲げ実施してきた。

そうした中、3月に1・2年生の非加入者に今年度の取組を提示し、再度 PTA 入会の確認をした。項目を①PTA に加入する②PTA に加入し、お金は払うが活動や役員はやらない③PTA に加入しないとしたところ、100 名の新規入会者が出た。

—反省点—

本校の活動内容や PTA が行事や役員を強制しない団体であることをさらに、会員・非会員に周知してくべきであった。

—改善案—

次年度は県下一斉パトロール等にも、ボランティアを募り活動内容を周知していきたい。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡中学校 会長氏名 佐藤 麗美

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎鷹岡地区の地域とこどもたちの健全育成を目指した取り組みを行う。

～具体的な取り組み内容～

【本部事業】鷹岡中学校 PTA 講演会（10月20日）

制服バザー（12月12日）

【生活指導部】県下一斉夜間巡視（7月17・19日、12月17・20日）

【成人教育部】PTA新聞（年1回）とPTA便り（マチコミ配信）の発行

【環境整備部】奉仕作業（10月21日）

【体育保健部】PTA親子親睦球技大会（10月20日）

【家庭教育委員会】PTA給食試食会（6月17日）

取り組みの効果

①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・制服バザーを行い、多くの保護者に喜んでもらうことができた。
- ・PTA 親睦球技大会を、例年より規模を縮小して、基本的には当日のみの開催と負担の少ない運営にした。持続可能にするため、今後もその方針である。

－反省点－

- ・奉仕作業に、生徒が主体的に参加できる機会があってもいいのではという意見があった。今年度は特に生徒の参加を募集せず、環境整備部の保護者の子が参加するという形になっていたが、来年度は生徒の自由参加を呼び掛けることも検討したい。

－改善案－

- ・家庭教育委員会の活動として行ってきた卒業生用のコサージュ贈呈を、やめることになった（PTA に加入しない家庭が増えたため）。家庭教育委員会の新たな活動を、必要に応じて検討していきたい。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岳陽中学校

会長氏名 佐藤 祐樹

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・年5回理事会の開催（ZOOMを活用し、誰でも参加できる形で実施）
- ・公式LINEを活用した広報活動
- ・PTA会員に対するアンケートとそのフィードバックの実施
- ・CSDと連携した地域ボランティアの斡旋とボランティアカードの配付
- ・年2回古紙回収の実施
- ・保護者・生徒による奉仕作業（雨のため、校舎内のトイレ清掃を実施）
- ・卒業生のためのコサージュ作成
- ・防災講座の実施（広報活動は生徒会と連携した）
- ・地域を巻き込んだ子育て講演会（広見まちづくりセンターで実施）
- ・学用品リユース事業

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・今年度も「できる人が、できることを、できるだけ活動する」という基本方針のもと、強制による活動を排除した結果、PTA会員の満足度は95%を超える高いものとなった。
- ・「課題解決型のPTA活動に」を合言葉に掲げ、ZOOMを活用した理事会の実施、公式LINEや相談窓口の設置、アンケート等を実施したことで、普段学校に届かない保護者の抱えている課題や悩みが明らかになった。
- ・コロナ禍が明け、CSDと連携しボランティア活動を斡旋したり、防災講座の広報に生徒会と連携した校内放送を入れたりすることで、PTAと地域、PTAと生徒、そして地域と生徒の接する機会が増えた。また、今年度立ち上げた「子育て講演会」では、不登校や起立性調節障害等をテーマにいいずみクリニック飯泉 Dr.等を招いてパネルディスカッションを行った。悩みを持つ保護者を支える人材が地域にたくさんいることが分かり、参加した保護者からは大変好評だった。「地域で子供を育てる」体制づくりが一步進んだ。

—反省点・改善案—

- ・昨年度より、広報活動（PTA公式LINE、イベントのチラシ、生徒会との連携、ポスター等）を増やしたため、参加者は増えているが会員数から考えると、まだまだ参加が少ない。広報の機会を引き続き増やしていく。
- ・トイレ清掃、防災講座、子育て講演会等、今年度のイベントは、会員に必要感があり、参加者には大変好評であった。参加者の声を、公式LINE等でもっと発信していきたい。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原北中学校

会長氏名 今村 亨子

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

PTA 三役会：PTA 会則、組織改編、役員選出方法の見直しおよび保護者説明会の実施。

生活指導部：①7月19日（金）、12月13日（金）に三地区（富士見台地区・神戸地区・吉永北地区）で県下一斉補導の実施。

②9月に富士見台交通安全大会に参加。

環境整備部：9月28日（土）に奉仕作業を実施。

家庭教育委員会：5月11日（土）体操服・制服バザーの実施。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ P T A 加入率の低下により輪番制で行ってきた役員の選出が難しくなってきたため、選出方法を立候補という方法に変更し、募集をかけた。また、役員の負担軽減も図り、専門部を廃止し、役員全員で P T A 活動を運営していくようにした。以上の変更点をリモートで臨時の保護者説明会を行った。これにより若干ではあるが加入率が上がった。
- ・ 運動場や校舎周辺の雑草が生い茂り、奉仕作業できれいになった。
- ・ 例年行っている P T A バザーに多くの保護者が来校した。保護者からの開催要望があり、次年度も実施を行う。

—反省点—

—改善案—

- ・ 次年度も役員を立候補の方法で募集をかけていくが、保護者が P T A 役員として参加したいと思えるような広報活動や P T A 活動を行っていく。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一中学校

会長氏名

小池 雅記

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

【全体】・富士川大運動会への協力（準備・撤収・受付等）

【本部】・「ふれあいはあいさつから」を基軸に各行事に取り組んだ。

・学校行事へのサポート（文化発表会の運営補助等）

【生活指導部】・交通安全あいさつ運動を春と秋に実施した。

【環境整備・体育保健部】・富士川大運動会前に愛校作業を実施する予定だったが、雨天のため中止した。

【成人教育部】・HP に載せる PTA 活動の取材、原稿づくりを実施した。

【家庭教育委員会】・富士川地区青少年育成部会、富士川学校給食、学校運営協議会に参加。

・市 P 連の各種研修、会議への参加。

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・あいさつをすることで地域の声掛け活動に発展し、防犯への一定の効果があると感じている。
- ・2年生の会員が全員何らかの役に携わる事で、不公平感が軽減され会員間の連携が良くなったと感じている。
- ・PTA 活動や学校行事等を学校ホームページ上にて発信することで、新聞作成の労力と削減ができた。
- ・家庭教育委員会では、年度初めに役割分担を明確にし、一人の方に業務が集中しないようにすることで、仕事で参加できない役員をフォローできた。

－反省点－

- ・役員決めの際人気のある部とそうでない部の偏りが大きい。
また本部役員を率先してやってくれる方がいない。（会員数の減少も影響している）
- ・大運動会においては、役割分担（小学校・地域を含む）が明確でなかったため、本部役員の負担が増えてしまった。

－改善案－

- ・小学校との連携を密にすること（CS 等を活用）で、大運動会等の行事への協力を強化する。
- ・各専門部が何をやっているのか、もっと情報発信することで PTA 活動を理解してもらう。
- ・2年生の学校行事の際には、事前の相談と準備を行う必要がある。